

WO

施工業者様用


〈施工説明書〉

WOODONE

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

 **0120-813-331**

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

WO開きドア

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・はさまれ注意!

強くドアが閉まると指のはさまれや衝撃によるガラスの割れ等が起こる原因となり危険ですので、ドアクローザーやドアストッパーをお使いください。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒドVOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒドVOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・丁番用固定ネジは確実に締める。

丁番用固定ネジの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はドア脱落の原因になりますので、必ず固定ネジは確実に締めてください。施工後に再確認をお願いいたします。

・レバーハンドル用取り付けビスは確実に締める。

レバーハンドル取り付け用のビスの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はレバーの脱落の原因になりますので必ず取り付けビスは確実に締めてください。

施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

梱包を開いたらドア本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■ 梱包内訳表

シングルドア

	部材名	数量	備考
	ドア	1枚	錠ケース取付済
	施工説明書	1部	
	使用説明書	1部	必ずお施主様に渡してください

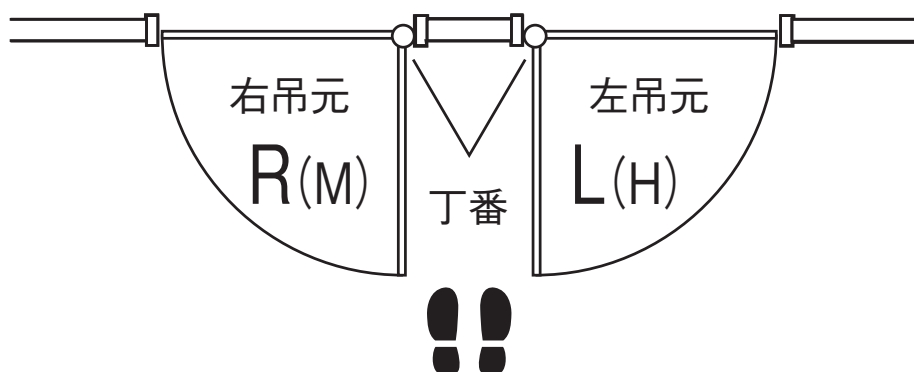
レバーハンドル(別売品)

	部材名	数量	備考
	レバーハンドル	1セット	
	3mmレンチ	1本	必ずお施主様に渡してください

お願い

同梱されています3mmレンチと使用説明書は、必ずお施主様に行き渡りようご配慮願います。

扉吊り込み時の向きにご注意ください



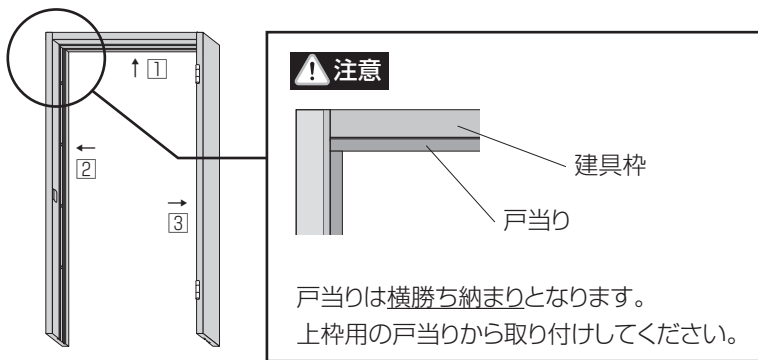
お願い

- 施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- 照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

お願い レバーハンドル取付までは、ドアを閉めないでください。

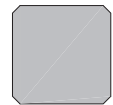
1 戸当りの取付け

●完成図

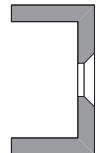


●戸当り部材

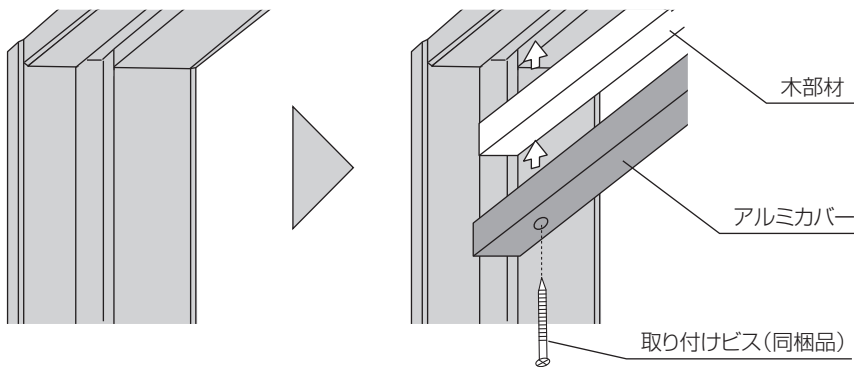
木部材 13mm角
 縦枠用2本 上枠用1本



戸当りアルミカバー
 縦枠用2本 上枠用1本



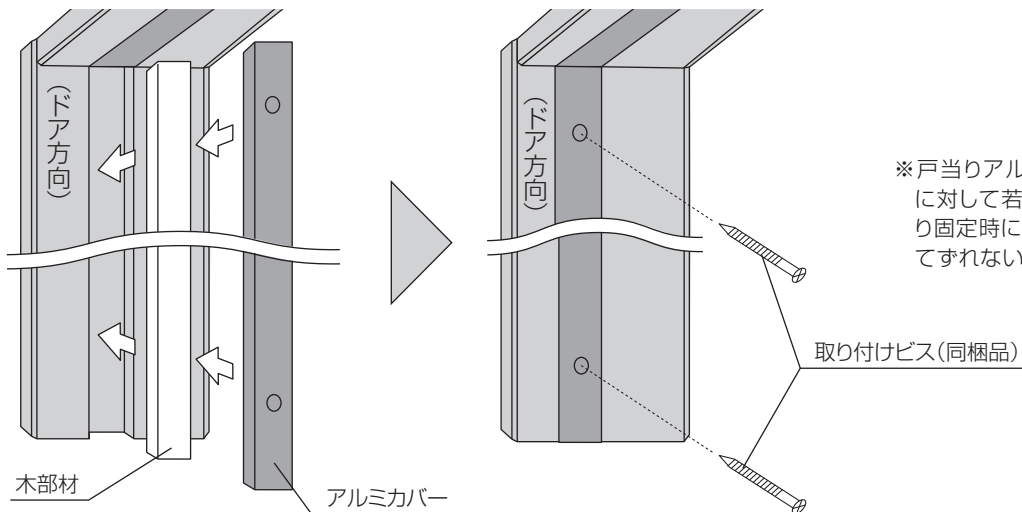
①上枠の戸当りを同梱のビスで取り付けます。



ポイント

※クロスは切らずにそのまま戸当り木材部とアルミ戸当りをビスで固定してください。その後パッキンを取り付けてください。

②縦枠を同梱のビスにて取り付けます。

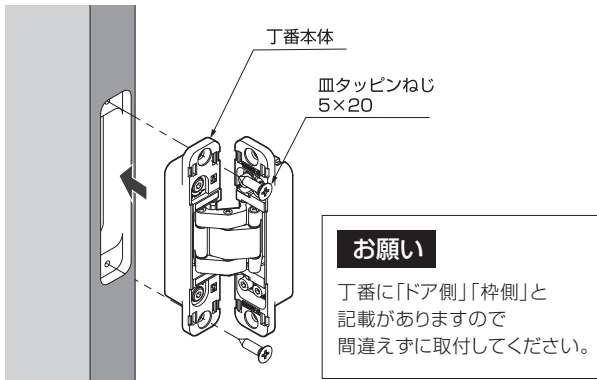


③戸当り取り付け後にパッキンを取り付けます。

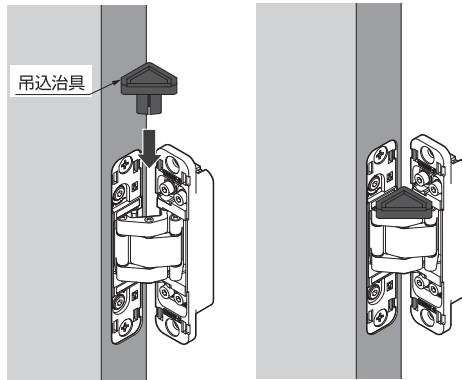


※パッキンはラッチ側縦枠と上枠に取り付けてください。(丁番側は不要です)
 ※パッキンは現場でカットしてください。

2 扉への取付け

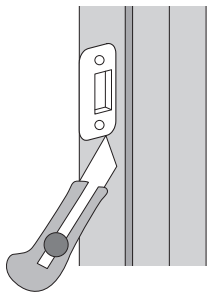


3 治具の取付け



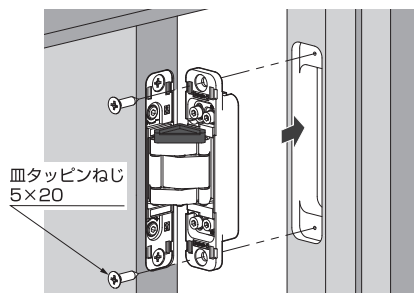
4 ラッチ受けの取付け

下地枠の場合クロスを少しだけ残して金具取付位置で切り取り、クロスを少々巻き込みながらラッチ受けを取り付けてください。(クロスの厚みによってはラッチ受けが取り付けにくい場合があります。)

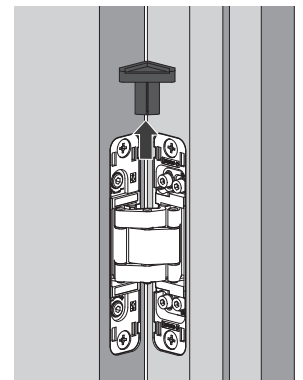


5 扉の吊り込み

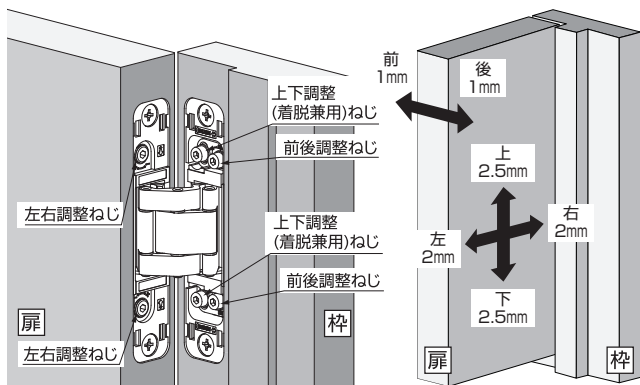
下地枠の場合クロスを少しだけ残して金具取付位置で切り取り、クロスを少々巻き込みながら丁番を取り付けてください。(クロスの厚みによっては丁番が取り付けにくい場合があります。)



6 治具の取外し

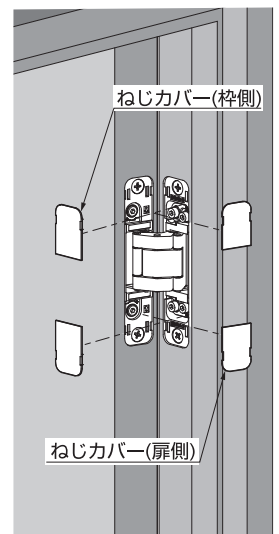


扉の位置調整



左右の調整
ねじ（1つの丁番に2ヶ所）を回すことで扉を動かして調整をします。
（右に回すと枠と扉のすきまが広がります）
① 2つのねじを少しずつ同じ量だけ回してください。片方だけ回し続けると丁番が破損するおそれがあります。
⚠ 調整範囲は±2 mmです。調整ねじを右に回す時はそれ以上に動きますが、部品がせり出すため、ねじカバーがはまらなくなります。更に回し続けると扉が外れてしまいます。

ねじカバーの取付け



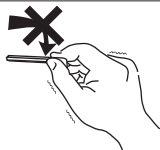
上下・前後の調整

ねじを半～1回転緩め、扉を最適位置にした状態でねじを締め込みます。
扉の下に、かいもの等を用いて扉を保持しながら作業してください（推奨締付トルクは3.5 N・mです）。
Ⓞ 調整の際に上下・前後調整ねじを緩めすぎて外さないでください。扉が脱落して、けがをするおそれがあります。

扉を取り外す際は上下調整ねじ(着脱兼用)を外してください。
※扉が大きく重いため、十分に注意して取り外してください。

お願い

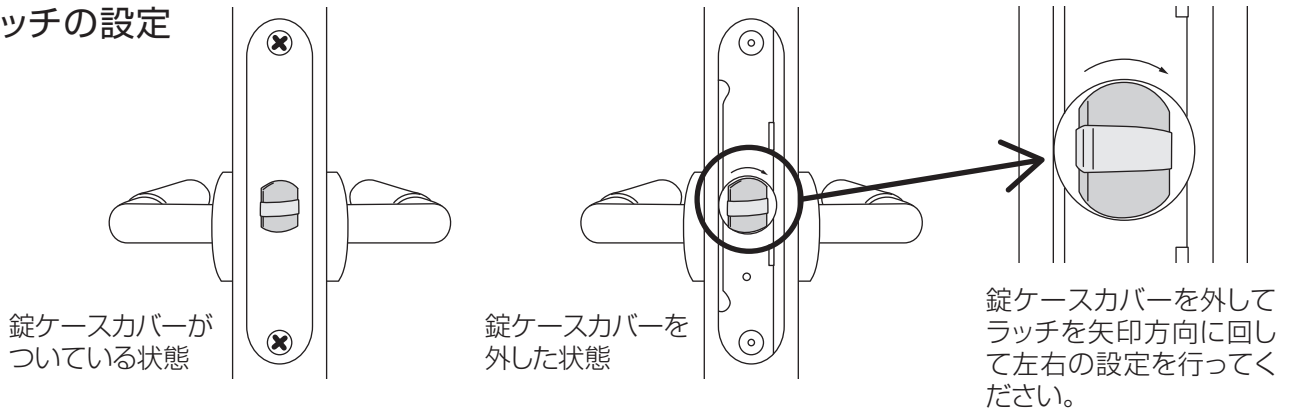
破損の原因になりますので、きつ力を込めて押すのはおやめください。



お願い

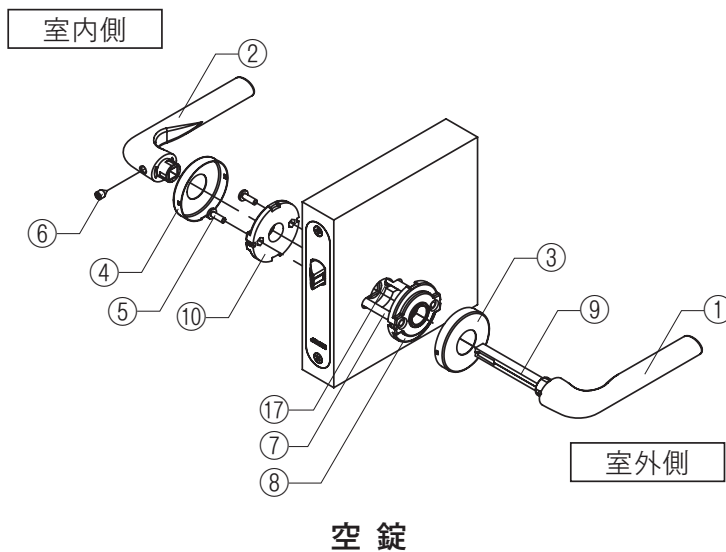
金具の固定を行う際は、過大トルクを発生させる工具の使用により、商品に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

■ラッチの設定



■レバーハンドルの取付

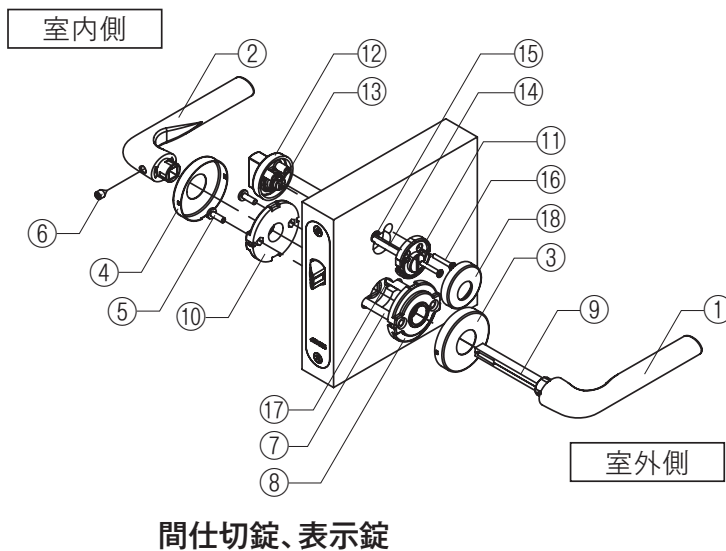
●丸座の場合



レバーハンドルの取付

- (1) 外部ハンドル座⑧に取付ネジ柱⑦を2個挿入し、化粧カバー③をかぶせ、切り込み穴⑰に挿入してください。
- (2) 室内側より内部ハンドル座⑩をはめ込み、座取付ビス⑤で仮固定してください。
次にレバーハンドル①、②をセットし、レバーハンドルが正常に作動するかを確認したうえ、座取付ビス⑤を本締めしてください。
- (3) 室内側より、化粧カバー④をかぶせて、レバーハンドル②をハンドル固定ビス⑥にて固定してください。

■間仕切錠、表示錠の取付



間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付

- (1) 鍵座⑪の連結板⑭をハブ穴⑮に挿入してください。
- (2) サムターン穴⑬にハブ穴⑮を貫通してきた連結板⑭を挿入しサムターン座取付ビス⑯で固定し、正常作動するかを確認してください。
シリンダー錠はキーを抜いた状態で取り付けてください。
- (3) 操作がスムーズであればカバー⑱をはめ込んでください。

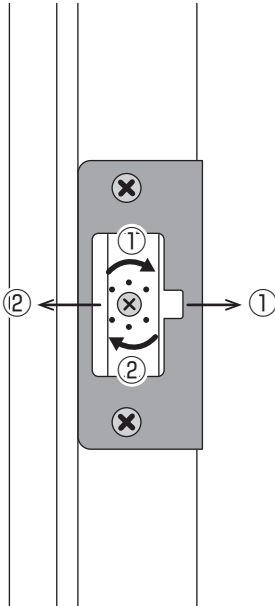
部材・部位名							
①	レバーハンドル(室外側)	⑥	ハンドル固定ビス	⑪	鍵座	⑮	ハブ穴
②	レバーハンドル(室内側)	⑦	取付ネジ柱	⑫	サムターン座	⑯	サムターン座取付ビス
③	化粧カバー(室外側)	⑧	外部ハンドル座	⑬	サムターン穴	⑰	切り込み穴
④	化粧カバー(室内側)	⑨	角芯	⑭	連結板	⑱	カバー
⑤	座取付ビス	⑩	内部ハンドル座				

■ドアの上下・左右およびラッチ受けの調整

ドアと枠の間が適切になるようにドアの丁番を調整してください。また、ドアがガタつく場合、あるいはラッチが入りきらない場合はラッチ受けの調整機能を使って建て付けの補正を行ってください。

(イ)ラッチが正常にラッチ受けに納まらない場合は下記方法で調整してください。

調整ラッチ受け



お願い

調整を行う際は、過大トルクを発生させる工具の使用により、商品に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。